

**Q** 水稻用農業機械導入補助金について問う。

**A** 今年度は9件503万円の利用、個人への支援や中古農業機械など、条件の緩和については今後検討。

**Q** 保育所や学校の有機米利用拡大はどうか。

**A** 拡大には経費が必要。限られた財源の中で難しいが、保育所での有機米の提供など進めている。

**待機児童解消について**

**Q** 待機児童の状況について問う。

**A** 今年度は9名、来年度は現在8名発生見込み。保育士の確保に向けて努力している。

**入札制度改正について**

**Q** ダンピング受注を排除するため、低入札調査制度、または最低制限価格制度のどちらかの導入に向けて検討してはどうか。

**A** 公共工事などの発注に当たり、最低制限価格の設定に限らず、入札に係る参加要件や予定価格、工期の設定などを総合的に考え取り組んでいる。



感染予防対策のアルコール消毒液

**データヘルスの活用について**

**Q** 新潟大学と協力し研究を進めてきたが、結果はどうか。

**A** 市と共同研究を行っている新潟大学医学部の研究チームは、市が提供した市民の健診、医療、介護などのデータを分析し、生活習慣病と要介護状態に陥るリスクとの関係を解明した。運動習慣があれば介護の発生リスクを低くできる可能性があることが分かった。

国の指針や他の自治体の動向、地域の社会情勢などを踏まえ、総合的に研究、検討しながら、必要に応じて見直しを考えている。

**改正健康増進法について**

**Q** 今年4月から改正健康増進法が施行され、喫煙者にとって肩身の狭い思いでいる。屋外での受動喫煙を防止するための必要な措置を取った上で、庁舎をはじめ公共施設に喫煙場所を設置してはどうか。

**A** 市民の健康を守るためにも、また、健康増進を担う自治体として、対応しなければならぬと考えている。他方、第2種施設として、屋外の喫煙が認められている施設もあり、改正法の趣旨を踏まえ、今後の検討課題とする。



リフレッシュエリア

**県央基幹病院をめぐる医療体制について**

**Q** 県央基幹病院が400床規模で整備されることになった。しかし、回復期の病院として、三条総合病院の存続が望まれている。これまで三条市はどのように働き掛けをしてきたのか。

**A** 三条総合病院は地域医療に対し多大な貢献をしている施設だ。最低でも病床を維持し外来を守ることが最低限必要と考え、水面下で要望、調整活動が続けてきた。その上で病院が苦渋の決断として、19床の有床診療所に転換をすることとなった。

**新型コロナウイルスへの対応について**

**Q** 市の感染症対策本部の感染予防の周知はどうか。また、小学校、中学校の全国一斉休業について今後変更など考えているのか。

**A** ホームページなど、各メディアを通じて周知を図った。臨時休業中に小学校全体で8%から6%の児童を預かり、中学校の生徒預かりは4人だった。今後は状況を見極め判断したい。

**三条市の財政危機問題について**

**Q** 市の財政運営を家計や企業の資金繰りに例えていることについて問う。

**A** 広報さんじょうをお読みいただきたい。

**Q** 問題は借金の額ではなく、返す額の割合であることについて問う。

**A** 実質公債費率18%死守のために致し方ない。金利負担は増える。

**Q** 箱物の建設によって次の世代に対する負担のツケが回るのではないか。

**A** 丁寧に説明していく。

**Q** 負の遺産を作ったのは誰か。誰とも言えない。

**Q** 財政規律の考え方を問う。

**A** 実質公債費率18%、財政調整基金20億円。

**施政方針について**

**Q** 施政方針は何を目的に実施するのか。来年度の目標・方針を示すため。

**公共施設の利用について**

**Q** 嵐南公民館の音響設備は修理をしたはずだが、マイクの音が通らない。原因は、ハウリングを避けるため高音部の音が出ないよう設定が固定されているためだ。対応はどうか。

**A** 設備の利用に関し、公民館職員で徹底するとともに、利用者の声を聞き、利用者目線に立つて運営したい。



**2020年社会福祉法の改正を見据えた三条市の取り組みについて**

**Q** 既存制度では対象とされなかったが、世帯は生活困窮状態にはなくとも、社会との関係が断絶している方などに対する対応はどうか。

**A** 福祉課において、ひきこもりなどに係る相談支援の実施と併せハローワーク三条、三条地域若者サポートステーションなどと連携をし就労支援を行っている。今後は、福祉課にひきこもり相談窓口を開設し、窓口を周知するためのリーフレットなども作成する。

**「国定勇人後援会」事務所開設に伴う三条地区後援会長について**

**Q** 国定勇人三条地区後援会長について問う。

**A** 一般質問で聞くような質問ではないと考える。

**新型コロナウイルスの感染拡大について**

**Q** 感染予防は手洗い、うがい、咳エチケット、不要不急の外出を避けることだ。市としてどのように注意喚起を行っているか。

**A** 国の情報を基に、感染予防情報を市ホームページや広報さんじょう3月1日号に掲載し、安心・安全メールでも配信している。

**Q** 中国での感染拡大から、観光や中小零細企業への影響が明らかとなり、国は支援策を決定した。支援対象になっている企業への情報提供は、どのようにしているのか。

**A** 国や県などが実施している支援策を、市ホームページトップの新型コロナウイルス関連の専用バナーから見る



ハローワーク三条

**マイナンバーカードの取り組み状況と市民への周知について**

**Q** マイナンバーカードの保険証利用に向けた取り組み状況はどうか。

**A** 国保の保険者として令和3年3月から本格運用できるように進めている。

**Q** マイナンバーカード取得によるメリットをどう周知するのか。

**A** 市内医療機関の導入状況を踏まえ検討していく。



マイナンバーカード案内ポスター